

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2009年 3月31日

<p>テーマ名</p>	<p>ASP-SaaS型システム普及の研究</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>ITC実務研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>	<p>http://www.c303.net/activity/asp-saas2008.html</p>	
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 坂下 知司 電話番号: 045-826-8600 e-mail: satoisakasita@gmail.com</p>	<p>(担当者氏名) 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>「概要」 中小企業がIT化を進めるには、初期投資が不要で、利用度合いに応じた料金となるサービス型のシステム提供が不可欠といわれる。当研究会ではASP-SaaS型として市場に提供されているサービス並びに、ASP-SaaS型のシステム提供を可能とする基盤提供サービスを分析。2008年度として20余件の事例として纏めた。また、中小企業も、これらのIT化を支援する立場にあるITCもさまざまな企業、団体から提供が始まったこうしたサービスを俯瞰する全体像を持った上で個々のサービス商品を見極める必要がある。</p> <p>「先進性、独創性の評価」 日本のネットワーク基盤は欧米を凌ぐ網羅性と高速性が確保された。が、業務システムは先行する欧米型を追いかけているのが現状。サービス型のシステム提供は安定した高速インターネット網が大前提となる。日本の優位性を活かし、これまで遅れを取った中小企業のIT化を一挙に進める枠組みの提案で、先見性、独創性、現実性(経済効果・負担など)のある俯瞰できた。</p> <p>「他のITCへの有用性」 中小企業のIT経営を指南する立場のITCのみならず、サービス型のシステムを提供するベンダにも有用な俯瞰となった。</p> <p>「社会への貢献性の評価」 中小企業の視点で「使えるIT」とは何かを充分考察してきた。「使えるIT」の仕組み作りの提言として第一歩となると信じる。</p>	
<p>成果物</p>	<p>研究会ホームページに掲載 http://www.c303.net/activity/asp-saas2008.html</p>	

* 青字は事務局で記入します。

<p>事務局受付日</p>	<p>2009/3/31</p>
<p>案件番号</p>	<p>S08005</p>